



広野
中学校

広野中学校では1年生の技術の時間を学習にあて、講師に大工（八巻建築）八巻隆さん（南沢）を迎え本立てを製作しました。まずは、八巻さんによる木に関する説明。今回は国産・無節の杉を使用しました。木にもそれぞれ特徴があり、本立てにはどの木が最適なのか、生徒に質問しながらわかりやすく説明していました。苦労して作り上げた作品は町文化展に出展しました。



年輪はこうなってます。



自分の手で、一生使用できる本立てを作ろう!!



木はこのようにして育ちます。



製図



のこぎりびき



ねじ締め



鉋掛け



ニス塗り



代表者の作品（本立て）を町文化展に出品しました。



地元製材所さん、国産・無節の杉材料を揃えていただき立派な作品に仕上がりました。

森林環境交付金事業

福島県では、水源のかん養や県土の保全など、私たちの生活にさまざまな恵みをもたらす森林の公益的機能の重要性を踏まえ、県民全体で森林を守り育て、本県の豊かな自然環境と良好な生活環境を将来の世代に引き継いでいくため、「県民一人一人が参画する新たな森林（もり）づくり」に取り組む財源として、平成18年より森林環境税が導入されています。それに伴い子どもたちが実際に木とふれ合い、自然の恵みや森林を守り育てる意識を高める目的で「森林環境学習」事業が創設されました。

広野小学校と広野中学校の学習の様子を写真を使って紹介します。



4年生の図工の時間を学習時間にあて、講師に林業技師の豊田新一さん（いわき市）を迎え木工クラフトを製作しました。はじめに、豊田さんよりあけびやくくわの実など実際に使用する材料の説明があり、作業へと入りました。小刀やのこぎりの扱いにとまどっていた子どもたちですが、作品を仕上げる頃には慣れた手つきで作業していました。



授業参観でのおかあさん、おばあちゃんの感想は？



もみじの木でえんぴつストラップができたよ！



これが、作品（木工クラフト）の一部です。



皆さん、ここにある、あけび、こくわの実を食べたことがありますか？